

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファイナンシャルプランナー I financial planer I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
法学・民法Ⅰ・民法Ⅱ・不動産関係法・税法Ⅰ・税法Ⅱ・				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会保障・金融資産運用に関する科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高須則行	非常勤講師室	出講日		授業中に指示します
授業の概要				
職業としてのファイナンシャルプランナー（以下、FP）の知識領域を手がかりとして、私たちが将来の生活設計をどのように作るべきかという知識（公的年金制度・健康保険制度・金融資産運用等の知識）の習得を図る。				
授業の目標				
①FPと倫理規定、②社会保険制度（国民年金・厚生年金/国民健康保険制度/雇用保険）、③生命保険制度と損害保険制度、④金融資産運用等（預金・株式投資・債券投資・投資信託）を説明できるようにする。				
授業の方法				
講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し答えてもらうことで、自らの考えを述べることができる。				
学習の成果（学習成果）				
ファイナンシャルプランナーとして業務する際の必要な知識・技能（倫理規範・社会保障制度等）を身につけ、それらを説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ファイナンシャルプランナー（Ⅰ）へのいざない：ライフプランニングと資金計画			
第2回目	社会保険（1）：公的医療保険			
第3回目	社会保険（2）：公的介護保険・労働者災害補償保険			
第4回目	公的年金（1）：国民年金			
第5回目	公的年金（2）：厚生年金			
第6回目	私的年金：企業年金と個人年金（*基本的理解の確認小テスト）			

第7回目	生命保険（１）：生命保険の仕組み
第8回目	生命保険（２）：生命保険の種類
第9回目	損害保険（１）：損害保険の仕組み
第10回目	損害保険（２）：損害保険商品
第11回目	金融資産運用（１）：マーケット(市場)の仕組み（*基本的理解の確認小テスト）
第12回目	金融資産運用（２）：投資信託の仕組み
第13回目	金融資産運用（３）：株式の特徴と種類等
第14回目	金融資産運用（４）：債券の特徴（*体系的理解の確認テスト）
第15回目	公的年金・生命保険等と税金

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート		
調査報告書		
小テスト	60%	S: 基本的用語・重要事項の理解度90%以上であること
試験	40%	S: 体系的・全体的知識の理解度90%以上であること
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

『2013～14年度版パーフェクトファイナンシャルプランナー3級技能士入門』（きんざいファイナンシャル・プランナーズ・センター編著・2013）

履修上の留意点・ルール

教科書を持って来て、授業に参加することは当然ですが、念のためにここに記載しておきます。テキスト・資料(配布プリント)・六法は必ず持ってくる、板書の内容は整理してノートに取ること